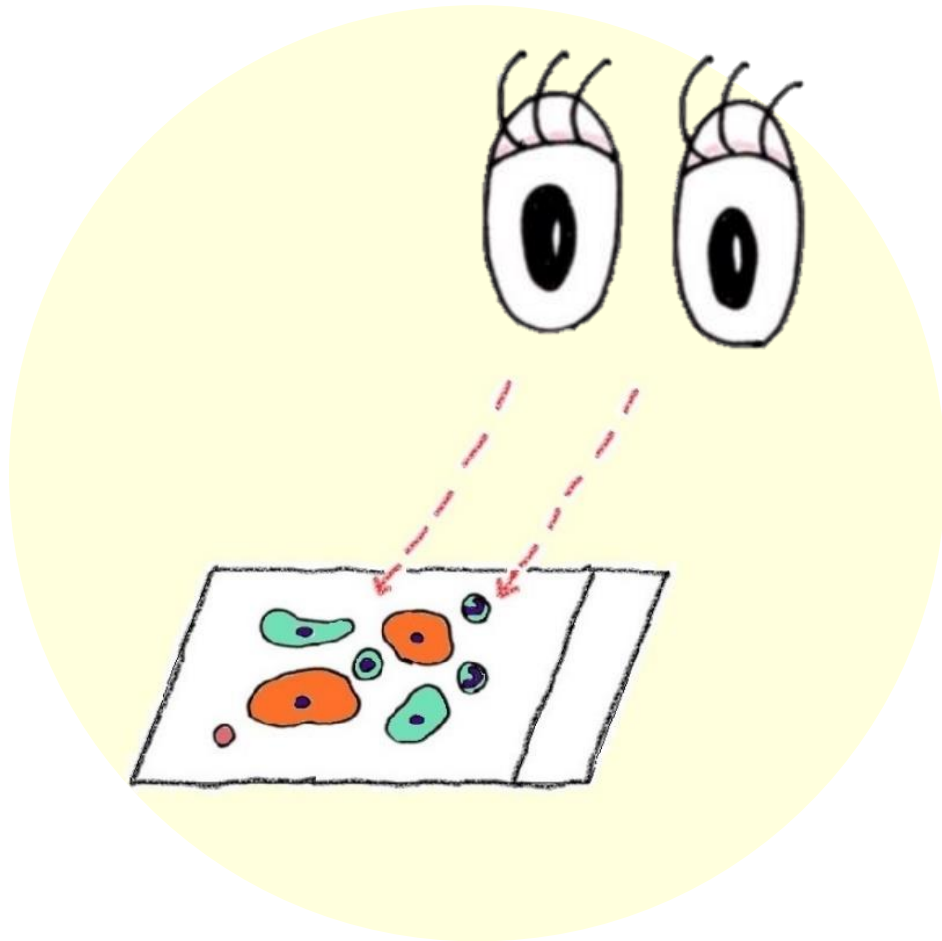


検査説明パンフレット

細胞診検査



細胞診検査とは？

簡単に説明すると…

検体の中にある細胞を顕微鏡で観察して、どのような細胞があるかを調べる検査です。悪性細胞なのか、良性細胞なのかなどを判断しています。

検体の採取方法は、大きくわけて3種類あります。

はくり剥離細胞診 ……尿、喀痰、胸水、腹水、胆汁、髄液中などに自然と剥がれ落ちた細胞を集める。

せんしきゅういん穿刺吸引細胞診 ……甲状腺、乳腺、唾液腺、リンパ節などの病変部に採血と同様の細い針を刺して、細胞を吸引して採取する

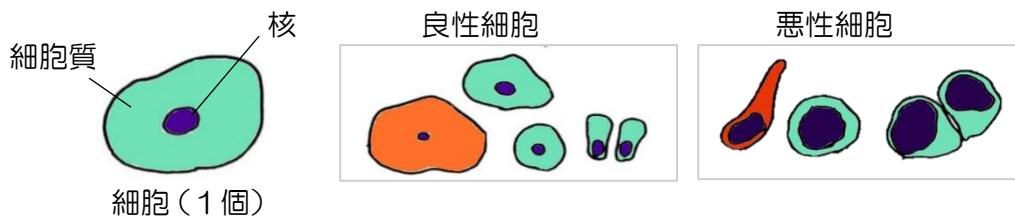
さっか擦過細胞診 ……子宮頸部、子宮体部、口腔内、気管支表面などにブラシや綿棒などを挿入し病変部を擦過して細胞を採取する

このように身体の様々な部分から検体を採取し、検査することができます。針を刺すこともありますが、患者さんへの負担が比較的少なくてできる検査です。

こうして採取した細胞をスライドガラスに塗り付け、特殊な染色（パパニコロウ染色）で細胞に色を付けて見やすくした後に、顕微鏡で観察していきます。そこで何か異常な細胞が見つかった場合は、さらに詳しい検査へと進んでいきます。子宮がんや肺がんの検診にも用いられており、がんの早期発見に役立っています。

細胞について

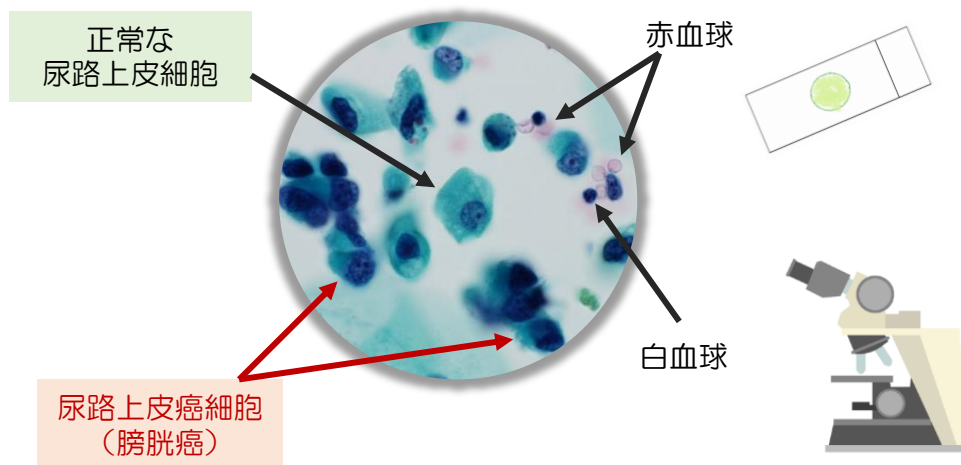
細胞とは、生物体を構成する基本単位です。人体を構成する細胞は、部位や役割によって違う形をしています。基本的には細胞質と核から成り立っています。それぞれの細胞の核や細胞質の変化を診たり、細胞の塊がどのような形をしているかを診て、良性・悪性の判断をしています。



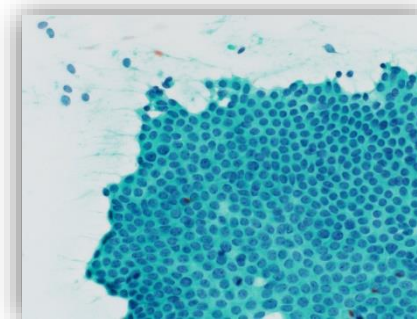
スライドガラス上にある細胞をすべて観察して、異常な細胞を見つけ出し、それがどういう細胞なのかを判断していきます。

顕微鏡を覗いてみよう！

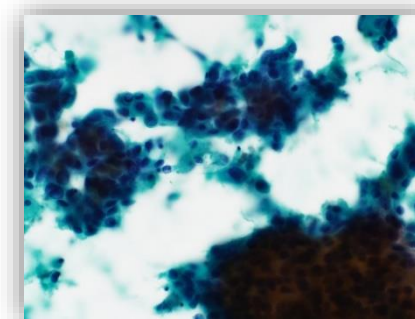
尿中の細胞を顕微鏡で1000倍にしてみた写真です。通常検査する時は、100倍～400倍で見えています。



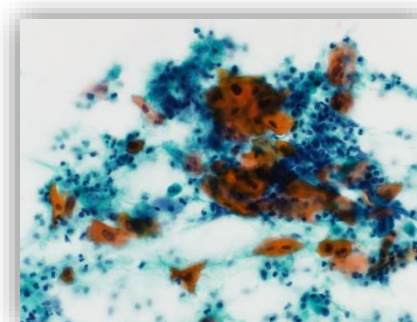
その他の材料の細胞像です。細胞は、部位や働きによって様々な形態を示します。



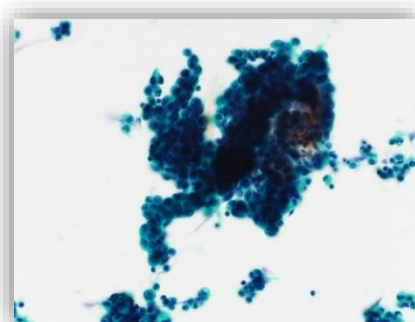
乳腺の細胞
良性腫瘍（線維腺腫）



乳腺の細胞
悪性腫瘍（乳癌）



舌の細胞
悪性腫瘍（扁平上皮癌）



腹水の細胞
悪性腫瘍（腺癌）

細胞検査士とは？

細胞診検査は、臨床検査技師の中でも、さらに“細胞検査士”という認定資格を取得した技師が検査を行っています。そこで異常な細胞が見つかった場合には、細胞診専門医（医師）に確認していただき、最終診断となります。